

地元の掲示板

ジモティー

×

ちば



ハッシュタグ

「#ちばリユースクール」

お子様が学校で使用したもので、まだまだ使えるものが御自宅に眠っていませんか？

県教育委員会では、保護者の教育にかかる費用負担軽減や環境負荷を考慮した教育活動のため、1月14日から4月13日をリユース促進期間として、学用品のリユースを推進しています。

その取組の一環として、株式会社ジモティーと連携して

ハッシュタグ

「#ちばリユースクール」を展開しています。

用途を終えた学用品で再利用できるものがあれば、是非「#ちばリユースクール」をつけて、ジモティーに出品して頂くことを御検討ください。

Q. どのような取組なの？

A. 株式会社ジモティーが運営するインターネットサイトに「#(ハッシュタグ)ちばリユースクール」というキーワードをつけて、不要となった学用品を出品していただき、必要としている方に無償又は安価にて、お譲りいただくというものです。

Q. どんなものを出品していいの？

A. 例えばお子様が学校で使用した教材（ランドセル、算数教材、美術教材、音楽教材、柔剣道用具等）が考えられます。状態は問いませんので、例えば「名前が書いてある」「シールが貼ってある」といった状態でも大丈夫です。詳しくは株式会社ジモティーの規程に則ります。

Q. 譲ってもらうにはどうしたらいいの？

A. ジモティーのホームページやアプリで「#ちばリユースクール」と検索してください。出品者との連絡はジモティーのシステム内で行います。品物の状態や引渡し方法等について確認し、合意が取れ次第、ジモティーの規程に則り、取引成立となります。
なお、取引はお子様ではなく保護者間で行ってください。



ジモティー千葉版はコチラ

<https://jmtv.jp/chiba>



インデックス&ミニ・トピックス

インデックス(目次)	頁
地元の掲示板ジモティー×ちば「#ちばリユーススクール」	1
インデックス&ミニ・トピックス※	2
令和7年度第9回千葉県教育委員会会議(定例会)の内容について	3
ちばの古墳まるわかり!~千葉県内重要古墳詳細分布調査成果報告会~を開催します	4
令和7年度 家族のための依存症講演会	5
「かずさの森のDNA教室」のご案内	6
2026活躍が期待される少年・少女「チームちば」の紹介	7
令和7年度「遊・友スポーツチャレンジちば」前期取組状況について 船橋市立前原中学校 前期大賞を受賞!	8
令和7年度千葉県学校体育優良校・功労者顕彰	9
ちば県子どもと親のサポートセンターの事業について 5つの相談窓口の紹介、放課後メタバースちば～こさぽんの家～紹介	10
出前授業「せんせいっていいもんだ」を開催(県立千葉工業高校)	11
県立白井高校があすチャレ!を実施しました(県立白井高校)	12
EU がやってきた!～ルーマニア大使館来校～(県立磯辺高校)	13
台湾(桃園市等)に高校生・教員を派遣	14
台湾桃園市・台北市とマラソン交流を行いました	15
台湾の高校生との姉妹校交流(県立千葉工業高校)	16
県内学校ミニ・ニュース(香取市立香取中学校)	17
県内学級担任紹介(印旛市立牧の原小学校)	18
教育関係者向け 令和7年度「がん教育シンポジウム」を開催します	19
イベント情報(生涯学習課・文化振興課より)	別冊
イベント情報(競技スポーツ振興課より)	別冊

◎さらに情報をお知りになりたい方、ご意見のある方は、次のアドレスにアクセスしてください。

県教育委員会ウェブサイト : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html>

フォトニュース : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-index.html>

ご意見・ご提案メール : https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku_iken_kyouiku/form.html

<アンケート>

県教委ウェブサイトを使いややすくするためのアンケートにご協力ください。(←ここをクリック)

※今号のミニ・トピックスはお休みします。

令和7年度第9回千葉県教育委員会会議（定例会）の内容について

開催日 令和7年12月18日（木） 議案及び報告は以下のとおりです。

《審議事項》

- （議 案） 第57号議案 令和9年度千葉県県立中学校入学者決定の日程について
第58号議案 令和9年度千葉県県立高等学校入学者選抜の日程について
第59号議案 令和9年度千葉県県立特別支援学校幼稚部・高等部及び高等部専攻科入学者選考の日程について
第60号議案 市町村立小学校長の人事について
第61号議案 市町村立小学校長の人事について
第62号議案 職員の懲戒処分について
第63号議案 職員の懲戒処分について
第64号議案 職員の懲戒処分について
（報 告） 報 告 1 令和9年度（令和8年度実施）以降の千葉県県立中学校入学者決定の改善点について

ホームページ <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/soumu/iinkai/kekka/r7/071218iinkaikaigi9.html>（第9回結果）

令和9年度千葉県県立高等学校入学者選抜の日程について（第58号議案）※一部抜粋

- 1 一般入学者選抜、特別入学者選抜、地域連携アクティブスクールの入学者選抜及び通信制の課程の一期入学者選抜
 - 本検査 令和9年2月16日（火）、17日（水）
 - 追検査 令和9年2月25日（木）
 - 発表 令和9年3月2日（火）

令和9年度千葉県県立特別支援学校幼稚部・高等部及び高等部専攻科入学者選考の日程について（第59号議案）

※一部抜粋

- 1 幼稚部
 - 選考日 令和9年2月17日（水）
 - 発表及び通知 令和9年3月2日（火）
- 2 高等部普通科（千葉盲学校、千葉聾学校及び知的障害者（職業コースを除く）、肢体不自由者、病弱者を対象とする特別支援学校）
 - 選考日 令和9年2月16日（火）、17日（水）のうち志願する特別支援学校の校長が定める日
 - 発表及び通知 令和9年3月2日（火）
- 3 高等部普通科（職業コース）及び高等部専門学科（知的障害者対象）
 - 選考日 令和9年1月12日（火）、13日（水）
 - 追選考日 令和9年1月19日（火）
 - 発表及び通知 令和9年1月21日（木）
- 4 高等部専門学科（千葉盲学校（保健理療科））
 - 選考日 令和9年2月2日（火）、3日（水）
 - 発表及び通知 令和9年2月12日（金）
- 5 高等部専門学科（千葉盲学校（総合生活科）及び千葉聾学校（産業技術科、理容科））
 - 選考日 令和9年2月16日（火）、17日（水）のうち志願する特別支援学校の校長が定める日
 - 発表及び通知 令和9年3月2日（火）
- 6 高等部専攻科（千葉盲学校（理療科、保健理療科））
 - 選考日 令和9年2月2日（火）、3日（水）
 - 発表及び通知 令和9年2月12日（金）
- 7 高等部専攻科（千葉聾学校（理容科））
 - 選考日：令和9年2月17日（水）
 - 発表及び通知 令和9年3月2日（火）

ちばの古墳まるわかり！ ～千葉県内重要古墳詳細分布調査成果報告会～ を開催します

県教育委員会では、令和3年度から6年度にかけて実施した千葉県内重要古墳詳細分布調査事業※の報告会を2月11日（水・祝）に千葉市生涯学習センターで開催します。

本イベントでは、分布調査の成果を発表するとともに、古墳の魅力や地域活性化への取組などをテーマにした高校生と専門家によるパネルディスカッション等を行います。

また、アトリウムでは県内古墳に関連した出土品の展示や、高校生による学校所蔵の土器を使ったワークショップを実施します。

県内の古墳が「まるごと分かる」イベントです。ぜひ、お越しください。

※ すでに文化財指定されている古墳に加え、今後、指定又は登録の候補となる古墳を重要遺跡として選定し、優先的に保護する事業。
47市町村243遺跡を踏査し、138遺跡を選定した。

日 時：令和8年2月11日（祝・水）10:00～16:30（開場9:30）

場 所：千葉市生涯学習センター（千葉市中央区弁天3-7-7）

2Fホール・1Fアトリウム

定 員：300名（当日先着順・事前申し込み不要）

参加費：無料

内 容

<ホール>

○午前 10:00～12:00

- ・ 調査報告の概要説明 千葉県教育庁教育振興部文化財課職員
- ・ 県内中学生・高校生による歴史系クラブ活動報告
　　県立千葉高等学校、成田高等学校、
　　東邦大学付属東邦中学校・高等学校

○午後 13:00～16:30

- ・ 基調講演 古墳の保護と活用
　　文化庁文化財第二課 文化財調査官 大澤 正吾 氏
- ・ 千葉県南部の古墳について
　　千葉大学大学院人文科学研究院 教授 山田 俊輔 氏
- ・ 千葉県北部の古墳について
　　元千葉県立中央博物館
　　館長 萩原 恭一 氏
- ・ パネルディスカッション
　　「高校生と考える文化財の保護と活用」

<アトリウム> 10:00～16:30

- ・ パネルやポスター展示
- ・ 最新の発掘調査成果の紹介
- ・ ワークショップ
　　（高等学校所蔵土器を触ってみよう）など

入退場自由！
半日だけでも、イベントだけ
でも参加可能です！



お問い合わせ先：教育振興部文化財課

令和7年度 家族のための依存症講演会

近年、スマートフォンやオンラインゲームの普及により、長時間のプレイが生活に影響を及ぼす「ゲーム依存」が問題となっています。また、風邪薬や鎮痛剤などの一般医薬品を過剰に使用する「オーバードーズ」も、若年層を中心に深刻化しています。

こうした行動は心身の健康に大きなリスクをもたらすため、家族や教職員等、周りの方が正しい対応方法を理解し、重症化を防ぐことが必要です。

本講演会の動画では、専門講師が症状や本人への関わり方についてわかりやすく解説しています。

申込不要で、どなたでも視聴いただくことができますので、ご関心のある方はご視聴ください。

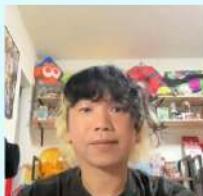
千葉県こころセンター（千葉県精神保健福祉センター）家族支援事業

令和7年度 家族のための依存症講演会

ゲームから離れられない 子どもや青年たち

講師 大湫病院

児童精神医療センター
センター長 関 正樹 氏



処方薬・市販薬を オーバードーズしている人と どう向き合うか

～家族との向き合い方も含めて、
支援者に求めること～

講師 Freedom 代表
倉田 めば 氏



対象：依存症の問題に関心がある方等、どなたでも視聴可能

配信方法：YouTube千葉県公式セミナーチャンネルで配信

配信期間：令和7年12月1日（月）～令和8年3月19日（木）

- ・千葉県公式セミナーチャンネルまたは当センターホームページ（千葉県の依存症相談について）の動画URLからご視聴ください。
- ・動画視聴にかかる通信料等は視聴される方の負担となります。
- ・本動画の録画・録音・撮影およびそれらの二次利用、詳細内容のSNS等への投稿は固くお断りいたします。
これらの行為が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処させていただくことがございます。



千葉県公式
セミナーチャンネル

千葉県の
依存症相談について

お問い合わせ

千葉県こころセンター（千葉県精神保健福祉センター）（千葉県依存症相談拠点機関）
電話：043-307-9383（相談支援課）
住所：千葉市美浜区豊砂6-1

Chiba Prefectural Mental Health and Welfare Center

千葉県こころセンター



○千葉県公式セミナーチャンネル

(<https://www.youtube.com/watch?v=dGIIBeAiMyY&list=PLjalza9HHe9GHMOjSUOMscEdw-AvUsrUG>)

○千葉県精神保健福祉センター：千葉県の依存症相談について

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/cmhc/kokoro/izonsyoutaisaku.html>)

お問い合わせ先：

教育振興部保健体育課保健班

「かずさの森のDNA教室」のご案内

かずさ DNA 研究所は、世界初の DNA 解析専門研究所として、医療・農業・産業・環境の分野で幅広く社会貢献を目指しています。また、将来を担う世代に科学への興味を持ってもらえるよう、様々な教育支援にも力を入れています。

この活動の一環として、この度、千葉県在住・在学の中高生を対象とした「かずさの森の DNA 教室」を開催します。

最先端の研究現場で本物の実験に触れる、貴重な体験を皆様にお届けします。

「かずさの森の DNA 教室」～ALDH2 遺伝子の解析～

日 時：令和8年3月25日（水）10:00～15:00

場 所：かずさ DNA 研究所 講習実験室

内 容：<アルコール分解に関わる酵素の遺伝子型解析実験>

自分の口腔粘膜細胞（頬の内側の細胞）を採取します。

PCR という方法で調べたい遺伝子の一部を増やし、

アルコール分解に関わる酵素の遺伝子型を調べます。



対 象：県内に在住または在学の中学生・高校生

定 員：32名（先着順）

参加費：無料

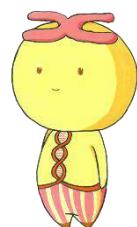
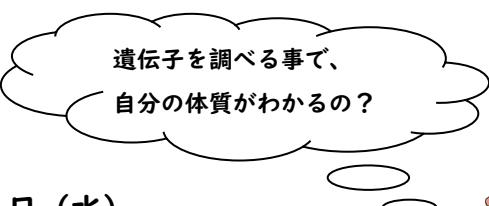
申込期間：令和8年2月1日（日）～3月18日（水）

*募集定員に達した場合、応募を締め切らせていただきます。

申込方法：ホームページ、または QR コードよりお申込みください。



*お申し込みはこちらから→



公式マスコット：ダーナ



公益財団法人

かずさDNA研究所

お問い合わせ先：広報・教育支援グループ

電話：0438-52-3930

ホームページ：<http://www.kazusa.or.jp/>

2026活躍が期待される少年・少女「チームちば」の紹介

第80回国民スポーツ大会に向けて、「チームちば」の活動が本格的に始動しました。天皇杯・皇后杯連続入賞に向け、「チームちば」の若き選手たちの活躍を紹介します。

フィギュアスケート競技

11月29日から11月30日まで、滋賀県大津市で、「第80回国民スポーツ大会冬季大会フィギュア競技予選会」が開催されました。冬季大会出場をかけたこの大会に、千葉県少年女子チームとして、
北見 奏選手（千葉市立稻毛国際中等教育学校4年）と高田 ありす選手（船橋市立前原中学校2年）が出場しました。ライバルとの熾烈な戦いの中、第4位という成績を収め、見事冬季大会出場を決めました！

青森県八戸市で行われる冬季大会は、1月31日が開始式、1月31日から2月17日までの期間、各競技会が開催されます。

フィギュアスケート競技では、千葉県から同予選会を第1位で通過した成年男子チーム、第3位で通過した成年女子、昨年度冬季大会第2位入賞によりシード権を有する少年男子チームも含め、全種別に選手が出場します。

青森の地で躍動する「チームちば」の姿に乞うご期待！熱い応援を宜しくお願いします！！

少年女子チーム



北見選手



チーバくん

高田選手

第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ2026」について

冬季大会 〈スケート競技・アイスホッケー競技〉 令和8年1月31日（土）～2月8日（日）
〈スキー競技〉 令和8年2月14日（土）～2月17日（火）

本大会 令和8年10月10日（土）～10月20日（火）

※関東ブロック大会は6月～8月（中心会期：8月21日～23日）に千葉県で行われます。

お問い合わせ先：スポーツ・文化局 競技スポーツ振興課 電話：043-223-4104

いきいきしばっ子健康・体力づくりプログラム

令和7年度『遊・友スポーツチャレンジしば』前期取組状況について

船橋市立前原中学校 前期大賞を受賞！

「遊・友スポーツチャレンジしば」は、本県の児童生徒の健康の保持増進を図るとともに、運動習慣の形成を目的として6つの運動種目（長縄やボールパスマリーなど）で、前期（6/2～9/30）、後期（10/1～1/30）の2期に分け、実施しています。

前期は、県内84校から申し込みがあり、最も申告回数の多かった船橋市立前原中学校に「遊・友スポーツチャレンジしば前期大賞」を授与しました。

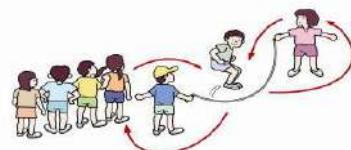
【前期記録申し込み回数上位校】

	学 校 名	申込数
1	船橋市立前原中学校	54
2	船橋市立峰台小学校	38
3	松戸市立松ヶ丘小学校	31
4	成田市立中台小学校	28
5	鎌ヶ谷市立五本松小学校	23
6	市川市立第六中学校	19
6	成田市立成田中学校	19
8	八千代市立八千代台西小学校	16
9	船橋市立三咲小学校	15
10	山武市立緑海小学校	12

※参加学校数とは、記録の報告が1回以上あった学校で、
申込数とは記録更新の報告があった数です。

【前期取組状況】

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
参加学校数	34	7	2	6	49
報告数	291	156	14	21	482



令和7年度の前期の結果について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/taiiku/ranking/index.html>



長縄8の字連続跳び中学校の部 第1位賞状授与
及び遊・友スポーツチャレンジしば 前期大賞授与



受賞した代表生徒（写真左と右）

体を動かす機会や場所が減少しており、児童生徒の体力はなかなか向上の傾向が見られません。まずは、体を動かすことの楽しさを感じてもらい、「体を動かした！」と思う子どもたちが増えるきっかけとなることを願っています。運動が得意な子も苦手な子も楽しく取り組むことができるのが「遊・友スポーツチャレンジしば」の良さです。前期に取り組んだ学校を始め、さらに多くの学校・子どもたちに参加してほしいと思います。

現在、後期の募集を行っております。令和8年1月30日（金）17時まで応募フォーム（下記二次元コード）から申請を受け付けています。

体育学習前の準備運動や休み時間、学級活動、学校行事など様々な場面で活用を検討していただき、積極的に御参加ください。



[お問い合わせ先]
教育振興部保健体育課

令和7年度千葉県学校体育優良校・功労者顕彰

県教育委員会では、毎年学校体育で優秀な成果を上げている学校及び学校体育に貢献している指導者を顕彰しています。令和7年度は次の学校及び指導者が選ばれました。皆様 おめでとうございます。

<学校体育優良校> 小学校 6校 中学校 1校 高等学校 1校 合計 8校

1	葛 南	習志野市立屋敷小学校
2	葛 南	八千代市立西高津小学校
3	北 総	佐倉市立上志津小学校
4	北 総	香取市立栗源小学校
5	東上総	山武市立山武北小学校
6	東上総	東金市立福岡小学校
7	千葉市	千葉市立花園中学校
8	高等学校	松戸市立松戸高等学校

<学校体育功労者> (敬称略) 小学校 7名 中学校 18名 高等学校 3名 合計 28名

No.	教育事務所等	職	氏 名	学 校 名
1	葛 南	校長	吉田 浩一	船橋市立法田中学校
2	葛 南	校長	藤井 義康	市川市立第二中学校
3	葛 南	校長	杉山 健一	習志野市立谷津小学校
4	葛 南	校長	平澤 一浩	八千代市立村上東中学校
5	葛 南	校長	大友 隆司	浦安市立南小学校
6	東 葛 飾	校長	山内 和利	我孫子市立湖北台中学校
7	東 葛 飾	校長	佐藤 裕一	野田市立南部中学校
8	東 葛 飾	校長	石橋 聰	松戸市立第六中学校
9	東 葛 飾	校長	福原 久雄	柏市立豊四季中学校
10	東 葛 飾	校長	中曾根 仁史	流山市立東部中学校
11	北 総	校長	宗政 隆雄	白井市立七次台中学校
12	北 総	校長	小川 大輔	四街道市立四街道中学校
13	北 総	校長	佐藤 克巳	佐倉市立佐倉東中学校
14	北 総	校長	溝口 洋樹	旭市立干潟中学校
15	北 総	校長	網中 昭仁	銚子市立清水小学校
16	東 上 総	校長	中根 伸一	横芝光町立光中学校
17	東 上 総	校長	鈴木 克則	いすみ市立大原中学校
18	東 上 総	教頭	清水 雅之	一宮町立一宮中学校
19	南 房 総	校長	大網 栄治	市原市立辰巳台東小学校
20	南 房 総	校長	滝口 隆一	市原市立国分寺台中学校
21	南 房 総	校長	長島 則彦	木更津市立請西小学校
22	南 房 総	校長	神子 純一	館山市立館山中学校
23	千 葉 市	校長	酒井 隆夫	千葉市立新宿中学校
24	千 葉 市	校長	曾根 伸二	千葉市立都小学校
25	千 葉 市	校長	加藤 秀樹	千葉市立院内小学校
26	高等 学 校	校長	大崎 栄貴	千葉県立柏南高等学校
27	高等 学 校	校長	白鳥 寿	千葉県立生浜高等学校
28	高等 学 校	校長	林 利哉	千葉県立浦安南高等学校

【問合せ先：教育振興部保健体育課 学校体育班】

子どもと親のサポートセンターより

5つの相談窓口の紹介

子育ての不安、不登校、学校生活、進路など、教育に関するお悩みに専門カウンセラーが応えます。児童生徒本人のほか、保護者や教職員も利用できます。

【来所相談（予約制）】

当センターへ来所して相談ができます。
対象：小中高生本人、保護者
申込方法：下記の電話にてお申し込みください。
<電話番号>0120 - 415 - 446

【Eメール相談】

メールで相談ができます。
対象：小中高生本人、保護者、教職員
アドレス：saposoudan@chiba-c.ed.jp
※当センターからの返信は数日かかることがあります。

【電話相談】

電話で相談ができます。（24時間受付）
対象：小中高生本人、保護者、教職員
<子サポフリーダイヤル>
0120 - 415 - 446
<24時間子供 SOS ダイヤル>（フリーダイヤル）
0120 - 0 - 78310（なやみいおう）

【ワンストップ・オンライン相談（予約制）】

Zoomを活用して相談ができます。
対象：小中高生本人、保護者、教職員
予約方法：下記のページから予約できます。
[https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/reserve
_online](https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/reserve_online)



放課後メタバースちば～こさぽんの家～

【何をするところ？】

3D仮想空間（メタバース）で、様々な事情で学校に登校できない子供たちが安心して過ごせる居場所です。マスコットキャラクター「こさぽん」と話をしたり、他の参加者やオンライン支援員とゲームをしたりして、自由に、自分らしく過ごし、他者とつながる空間です。

【対象】さまざまな事情で学校に通うことのできない県内の小（4～6年）、中学生

【開室日】毎週火曜日・木曜日（祝日、長期休業期間中を除く）

【時間】15時～17時

※詳しくは当センターホームページをご覧ください。⇒<https://x.gd/31Crh>



千葉県子どもと親のサポートセンター
マスコットキャラクター
「こさぽん」

出前授業『せんせいっていいもんだ』を開催

千葉県高等学校工業教育研究会では、12月16日（火）、県立千葉工業高等学校を会場に、高校生を対象とした出前講座『せんせいっていいもんだ』を開催しました。

当日は、教員を志望する生徒など10名（千葉工業7名、東総工業2名、茂原樟陽1名）が参加し、参加した生徒は教員の仕事に対する理解を深め、進路選択の幅を広げることができました。

今後も、教職の魅力をたくさん発信し、生徒の多様な進路選択を支援する機会を継続していきます。一人でも多くの生徒が千葉県の教職を目指してほしいと思います。

プログラム内容

第1部：教職員課担当者からの説明

- 千葉県が求める教員像、教員免許状の種類や取得方法、教員採用試験の流れなどについて説明がありました。



第2部：工業高校卒業の現役教諭による講話

- 教員を目指したきっかけや、日々の仕事のやりがい、休日の過ごし方など、リアルな体験談を聞くことができました。



第3部：座談会・質問コーナー

- 生徒からは「人と話すのが苦手だが、どうしたら上手に話せるか」など、コミュニケーションに関する質問が多く、講師からは「実践あるのみ。子どもと話す中で自然と身につく」とのアドバイスがありました。
- 参加者は「教員の色々なことが知れて面白かった」「体験談を聞いてよかったです」と積極的な姿勢が見られました。



感想

★ 生徒の感想

- ・ コミュニケーション能力はたくさん話すことで身につくと分かった。
- ・ 教員の仕事について知らなかったことや意外なことを知れてよかったです。
- ・ 実際の体験談が聞けて参考になった。
- ・ 参加者全員が「教員に興味を持てた」と回答しました。

★ 講師の感想

- ・ 自分の体験だけでなく、高校・大学時代のことももっと伝えるべきだった。
- ・ 工業高校で進路を迷う生徒にも、教員という選択肢の意義を伝える機会にできてよかったです。
- ・ 工業高校卒業の現役教諭となった教え子が堂々と話す姿に、改めて教員のやりがいを感じた。

お問い合わせ先：千葉工業高校

県立白井高校が「あすチャレ！※」を開催しました

県立白井高等学校では、12月17日（水）、日本財団パラスポーツサポートセンターと連携し、1年生を対象に「あすチャレ！ジュニアアカデミー」を開催しました。

当日は、馬島誠さん（アイスホッケー、パラ・パワーリフティング選手）をお招きし、障がいのある方と一緒に遊べるゲームを考えることを通じ、他者理解や共存について学ぶことができました。

※日本財団パラスポーツサポートセンターが主催するパラアスリートと共生社会を学ぶワークショップ型授業



グループに分かれ、「どんな人でも同じルールで一緒に遊べる鬼ごっこ」をみんな真剣に考えています…うーん、難しい。

考えたゲームを馬島さんと一緒にやってみて、感想もいただきました。新しい気づきがあった瞬間です。



馬島さんがバンクーバーパラリンピックで獲得された銀メダルの重さに、一同ビックリ！

お問い合わせ先：県立白井高等学校

ＥＵが県立磯辺高校にやってきた！



～ルーマニア大使館来校～



県立磯辺高等学校では、11月13日（木）、駐日欧州連合（ＥＵ）代表国ならびにＥＵ加盟国大使館の外交官が出張授業を行う「ＥＵがあなたの学校にやってくる」プロジェクトを実施しました。

当日は、ルーマニア大使館から特命全権大使のオヴィディウ・ラエツキ氏をはじめ、4名が来校し、ＥＵの概要やルーマニアについてのお話をいただきました。

今回のプロジェクトを通じて、生徒は国際社会への興味関心を高めるとともに、グローバルな視点を養うことができ、大変貴重な、学びの多い時間となりました。



アニメや気候、ユーロの導入についてなど、積極的に質問の手が上がりいました。



クイズでは歓声が上がり、盛り上りました！

当日は、1・3年生を対象に、EU の概要やルーマニアについてわかりやすくご講話いただきました。この日を心待ちにしていた生徒も多く、講話中は一生懸命に耳を傾け、国際社会への理解を深める姿が見られました。

参加生徒の声

- 自分の知識が一気に広がった気がします。とても良い経験になりました。
- EUとルーマニアについてもっと知りたくなった。自分で調べてみたい。
- もっと英語力を身につけたいと思った。
- とても興味深い内容で勉強になった。今後の学校生活に活かしていきたい。
- 実際にルーマニアへ行ってみたくなった。

その他、非常に勉強になった、有意義だった等の感想が多く上がりました。

令和7年度千葉県国際教育交流推進事業

台湾（桃園市等）に高校生・教員を派遣

県教育委員会では、多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成を進めるため、平成30年度から高校生及び教員の台湾派遣を行っています（令和2年度と3年度は中止）。

令和7年度は観光について学んでいる商業関係学科等を有する高校10校から生徒15名、教員3名と事務局2名の計20名が、12月16日から3泊4日で台湾を訪問しました。観光に関連した内容を中心とする交流や、企業訪問等を通して台湾の充実した観光業と日本で普段学んでいることを結び付け、貴重な体験をすることができました。

学校交流では、現地校の生徒と一緒に2つの実習を行い、コミュニケーションを図りながら、交流を深めることができました。

参加者の意識が非常に高く、企業での説明や学校での実習では、メモを取り、積極的に質問するなど、たくさんのことを見ようとする姿が見られました。

（派遣校）

千葉商業高校、銚子商業高校、
東金商業高校、君津商業高校、
一宮商業高校、流山高校、
館山総合高校、下総高校、
成田西陵高校、市原高校

スケジュール

12/16（火）	○成田空港発	○桃園空港着
12/17（水）	○現地学校訪問	○企業視察
12/18（木）	○企業視察	○台北市内視察
12/19（金）	○台北市内視察	○桃園空港発
		○成田空港着

企業訪問（X-Park・金山漫遊・楽天モンキーズ）



駐在員の方に質問する様子



釜土料理について実習前の説明



台湾と日本の球団の違いを確認

私立育達高級中等学校との交流



現地の高校生と実習等を体験



現地の高校生・教職員と集合写真

お問い合わせ先：企画管理部教育政策課

台湾 桃園市・台北市とマラソン交流を行いました

ちばアクアラインマラソン実行委員会は12月7日（日）に台湾の桃園市で開催された「2025 桃園ハーフマラソン（石門ダム楓ハーフ）」と、12月21日（日）に台北市で開催された「2025 台北マラソン」へ、ちばアクアラインマラソン 2024 上位入賞ランナーと職員を派遣し、各都市とマラソン交流を行いました。

「2025 桃園ハーフマラソン」では、県立市川昂高等学校 教諭の岩間 暁選手（ちばアクアラインマラソン 2024 男子マラソン4位）が、「2025 台北マラソン」では、県立流山おおたかの森高等学校 教諭の蜂須賀 源選手（ちばアクアラインマラソン 2024 男子マラソン1位）が優れた成績を収めました。

2025 桃園ハーフマラソン（石門ダム楓ハーフ）



大会当日のスタート・表彰式・千葉県ブースの様子
※岩間選手はハーフマラソン男子3位という結果でした。

2025 台北マラソン



大会当日のスタート・派遣ランナー・
千葉県ブースの様子
※蜂須賀選手はマラソン男子20位という
結果でした。

お問い合わせ先：ちばアクアラインマラソン実行委員会事務局
(環境生活部スポーツ・文化局生涯スポーツ振興課内)
電話：043-223-4107

県立千葉工業高校 台湾の高校生との姉妹校交流

千葉工業高等学校では、国際理解教育とグローバル人材の育成を目的に、台湾の国立東勢高級工業職業學校（現：台中市立東勢工業高級中等學校）と姉妹校協定を締結し、文化交流や技術体験を実施しています。両校は毎年交流を重ね、令和7年度に10年目を迎えました。

卒業生の海外での活躍も刺激となり、生徒たちの国際感覚や将来への意欲は年々高まっています。今後も継続的な相互交流を通じて、互いの文化・技術への理解を深めていく予定です。

令和7年度交流事業

★台湾教育旅行団の受け入れ（令和7年5月）

- 新北市政府教育局・各校教員14名と生徒5名が来校。電子回路組立体験、実習設備見学、日本文化体験（茶道）などを通じ、技術・文化交流を行いました。



歓迎セレモニー



学校施設見学



電子回路工作

★台湾訪問（令和7年12月）

- 千葉工業高校から生徒9名と教員3名が台湾を訪問しました。台中市立東勢工業高級中等學校で歓迎セレモニーや汽車科（自動車）、機械科、家具設計科の授業見学、缶バッヂデザイン制作体験などを行いました。生徒同士はスマートフォン翻訳アプリを使いながらコミュニケーションを深め、日本・台湾のお菓子や文房具の交換も行われました。

また、高雄市の台湾双葉電子股份有限公司（日系企業）を視察し、現地で活躍する卒業生との交流を通じて国際的なキャリア意識を高めました。



成田空港（出発時）



姉妹校交流



企業見学（日系企業）

★台湾姉妹校の訪日教育旅行受け入れ（令和8年1月）

- 東勢工から生徒21名、教員3名が来日しました。千葉工業高校では歓迎セレモニー、施設見学、電子工作体験、日本文化（茶道）体験などを実施。生徒同士はSNSで交流を続け、友情を育みました。東勢工校長から創立80周年記念式典への招待も受けました。



姉妹校交流



電子オルゴール製作



旋盤作業見学

お問い合わせ先：県立千葉工業高校

県内学校ミニ・ニュース (香取市立香取中学校)

香取市立香取中学校は昨年度開校20周年を迎えました。今年度は香取市教育委員会から学力向上推進指定校の指定を受け、「学びの成果が実感できる学校づくり」をテーマに教育活動を進めています。

全校生徒49名の小規模校として、『香取中だからできること、香取中しかできないこと』をキャッチフレーズに以下のプロジェクトを立ち上げ、試行錯誤しながら取り組んでいますので、ご紹介します。

かとらぼプロジェクト

本校HP



MISSION 私たちの教育的使命

香取市学力向上推進指定校として、教職員の資質指導力の向上を図り、生徒に確かな学力を育成していきます。

また、市内小中学校のモデル校として、先進的な取組を実践し、より良い学びに貢献します。

VISION 本校が目指す未来像

将来に向けて自走（自分のコンパスをもち、しなやかな心で、考え方判断行動）できる人材を育成します。

そのために、人とつながり、かかわり、学び合う場の実現を図り、生徒が将来の舵取りをしっかりできる香取中を目指していきます。

VALUE 行動指針

- ①知的好奇心を支える基礎力として「読み解き力」を重視します。
 - ②合言葉「5つのチャチャチャチャ」を実践します。
- CHANGE** 日々アップデートを図る生徒・職員
CHANCE 学びを社会とつなげる生きた学力の重視
CHARGE 心身共にウェルビーイングな環境
CHALLENGE 先進的な取組へのチャレンジ
CHASE 生徒職員が見通しをもち行動（自走・伴走）



MISSION

生徒一人一人の学力向上

VISION

自走できる生徒を目指す

VALUE

①知的好奇心・読み解き力②5つのチャチャチャ

安全・安心な学校（人間関係づくり）

<読み解き力向上に向けた取組>

<実践例>

- 毎週金曜日は「かとらぼノートの日」
 - ・数学、理科、社会の3教科に絞り、教科書で学んだ箇所を全校で視写する取組
 - ・文構造をつかむための助詞の穴埋め問題
- リーディングスキルテストの結果を生かした授業づくり、継続的な取組。
- 授業冒頭における1分間読み上げトライアル（国語：文法・歴史的仮名遣い、英語：新出語句など）
- 香中検定（漢字、計算、英単語）の実施
全校で1週間集中練習・検定の実施



<学びの成果を実感できる取組>

- 1 総合的な学習の時間「香取学習」の充実
地域人材を活用し、継続的に異学年集団で行う体験学習・探究型学習。
 - 【雅 楽】香取神宮での雅楽指導、奉納演奏披露
 - 【和太鼓】和太鼓グループによる指導・演奏披露
 - 【茶 道】表千家講師による茶道指導・お点前披露
 - 【食と健康】探究学習をベースに調理・レシピ開発
- 2 外部機関との連携
 - ・市内在住留学生との国際交流
 - ・香取市連携協定の大学の出前授業、社会体験学習
 - ・河川財団と連携した利根川下流域野外観察学習
 - ・文化庁主催による学校クラスコンサートの実施

県内学級担任紹介

日々、児童生徒のよりよい成長を願い、魅力溢れる授業実践や学級経営を行っている先生方を紹介します。その先生が日々の授業や学級経営を行う上での根幹となっている考え方、またよりよい実践のためにどのような工夫をしているのか、その秘訣も紹介します！

学校名：印西市立牧の原小学校



担任名：鈴井 智葉

教員経験：4年目

(令和7年5月1日現在)

学級経営で取り組んでいることや「やりがい」

児童が小さな「できた」を積み重ねられるよう心掛けています。成長しようとする姿や、仲間と支え合う姿を間近で感じられることに、やりがいを感じています。

授業で心掛けていること

思考を深められるよう、まずは一人で考える時間を設定し、その後に友達の考えを聞いて比較したり広げたりする時間を設けています。

私の好きな「言葉」

「失敗は成功のもと」
失敗を恐れずに挑戦し続けていきたいです。

【触って、試して、実感する学習】

右の写真は、昨年度担任していた5年生の理科「もののとけ方」の学習の様子です。

授業づくりで心掛けたことは、実験や観察の機会ができる限り多く設けることです。

この単元では、学習を生かしてミョウバンの結晶づくりに取り組みました。また、予備実験を行い、児童がつまずきやすい点や、実験を円滑に進めるための手立てを検討しました。

今年度になっても覚えていてくれる児童がいることを知り、嬉しく感じます。



担当：企画管理部 教育政策課

教育関係者向け 令和7年度「がん教育シンポジウム」を開催します

平成28年12月のがん対策基本法の改正により、全国の学校や公民館などの社会教育施設において、がん教育の充実が進められ、子どもたちが正しい知識を身につける機会が広がっています。

このシンポジウムでは、外部講師を活用した授業実践事例等の具体的な事例紹介や「がん教育における外部講師活用の更なる推進に向けて」をテーマとしたパネルディスカッションを通じて、学習指導要領を踏まえたがん教育について学ぶことができます。

一緒にがんについて学び、考える機会にしましょう。

1 日時

令和8年2月18日（水）13時30分～16時30分

2 会場

文部科学省 東館3階 講堂 ※オンラインでの同時配信を実施

3 対象

- (1) 都道府県・指定都市・市区町村教育委員会の指導主事等
- (2) 国公私立学校の校長、副校長、教頭、教職員等
- (3) 学校におけるがん教育に外部講師として参画している、または関心のある医師・がん経験者等

4 参加方法

会場参加またはオンライン配信への参加

5 内容

- (1)講義「がん教育の授業について」

文部科学省総合教育政策局健康教育・食育課 健康教育調査官 岩田 悟

(2)事例発表

外部講師活用推進の取組、外部講師との連携、外部講師を活用した授業の実践事例等

- (3)パネルディスカッション 「がん教育における外部講師活用の更なる推進に向けて」

コーディネーター：聖心女子大学 植田 誠治 教授

6 申込

- (1) <https://forms.gle/3QidF8rFb9kDTv6K7>



7 主催及び運営

主催：文部科学省 運営：株式会社キャリアリンク

8 問合せ先

株式会社キャリアリンク がん教育等推進事業事務局
メールアドレス gankyouiku@careerlink-project.net

担当：教育振興部保健体育課